

# ほっかいどうの社会保障

2012年8月27日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 深刻な実態・切実な声 介護保険改善求め道と懇談

道の担当者も「高い保険料・利用料重く受けとめている」「2割負担は反対」

8月24日、介護制度について北海道と、値上げされた介護保険料や高い利用料、4月以降の介護報酬の影響などについて伝え、改善を求めて懇談をしました。

懇談には、旭川、苫小牧、岩見沢からの参加者もはじめ、住民や利用者家族、介護労働者など約20名が参加しました。

冒頭、新婦人が行った「介護保険制度についての『私は言いたい』カード」90人分を手渡しました。また、北海道民医連の「介護報酬・制度改定後の利用者の実態調査結果」や医労連に生活援助の影響をまとめた調査結果も渡しました。

道は、道民の負担増については「重く受けとめている」「2割負担の動きや給付の制限には反対する」との認識をしました。道社保協として、道としても実態を把握し、改善のために、国への要望とともに、道としても対策をすすめるように強く訴えました。



## 高い保険料・利用料、足りない施設 切実な実態や要求相次ぐ

●国民年金が満額ではないが、保険料が高くてびっくりした。

●夫婦の年金で生活はやっとです。今は介護を利用していませんので、「いつまで元気でいよう」が合言葉です。介護保険料をもっと安くしてほしいです。

●介護保険料が値上がりし、デイの食事代を支払うことができないため、回数を減らした夫婦がいます。食事代について道としても補助してほしい。

●年1回の認定調査の際は、介護度が下がるのではないかと心配しています。

●女性が長生きしていますので、女性の一人暮らしが多いです。年金額が月10万円以下の方が多いです。施設に入るには、何ヶ所も見て回らなければならない。もちろんお金があれば立派な施設はあります。道立の特別養護老人ホームを建ててほしいです。

●(複合型サービス・小規模多機能) 介護報酬が高く、支給区分上限額を超える方が多いです。現在、25名の入所のうち、15人が上限額を超え、自己負担が発生しています。生活保護利用者5名のうち3名もいます。是非改善してほしい。

	収入と支出の種類	2011年度	2012年度	12-11年	増減率
収入	厚生年金(42年間加入)	2,631,200	2,623,100	▲ 8,100	-3.1%
保険料の支出	国民健康保険料(本人+妻)	195,440			
	2012年後期高齢者医療保険料(本人)		164,900	12,750	+8.8%
	国民健康保険料(妻)		43,290		
	介護保険料	61,950	69,840	7,890	+12.7%
	小計	257,390	278,030	20,640	
	差引の負担増			28,740	



## 利用者もヘルパーも 生活援助の短縮の影響は深刻！

新婦人の資料を手渡しました(右写真)。中には「(要支援の方)ヘルパーさんが気の毒なので、掃除したが腰痛になった」、「(ヘルパーさん)時間に追われ、事なかれ主義になり、恥ずかしい」、「(ヘルパー)今まで通りの賃金のためには何件も受け持たなければならない」との声が寄せられています。暮らしと生活、命を守る道政とは、困っている声をひろう行政をしてほしいと訴えました。

懇談では、「利用者は職員に遠慮して我慢している」「苦情が事業者へ寄せられる」事業者の調査求めました。

他にも、保険料滞納者への制裁、介護職員医療行為の研修、介護職員処遇改善加算の申請状況や特別養護老人ホーム待機者問題、北海道の実態にも合わない地域包括ケアなどについても懇談し、改善を求めました。